

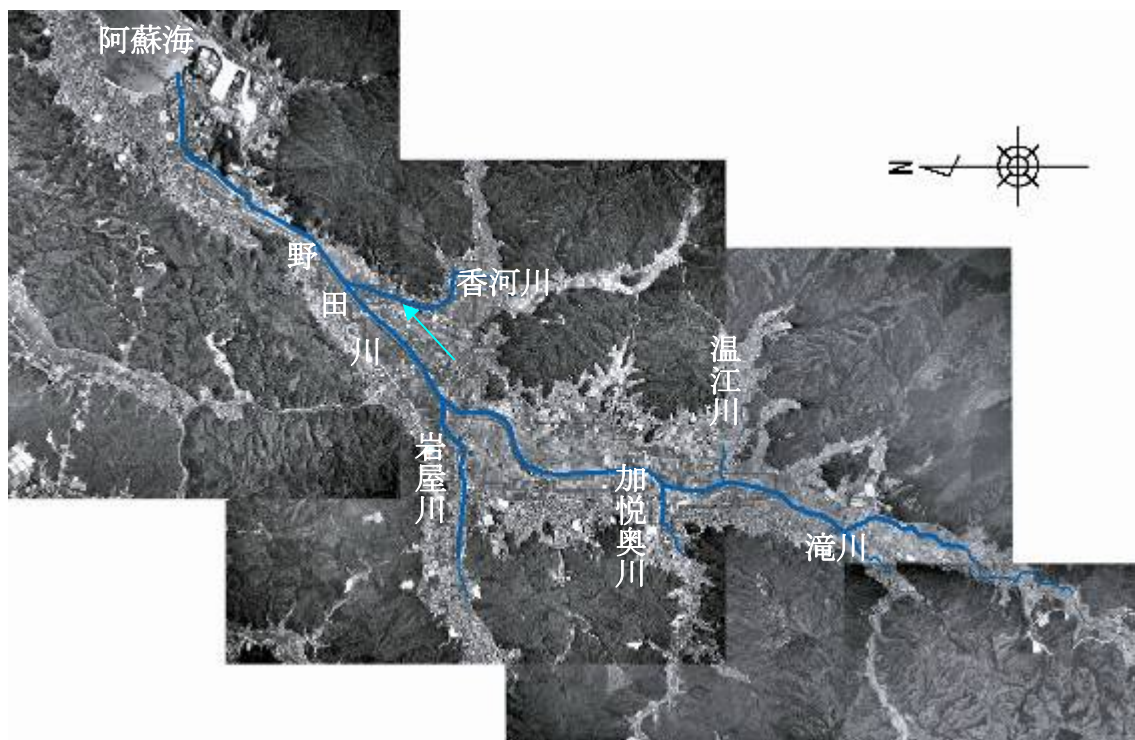
# 「平成25年度 公共事業評価調書」

## 事業名 野田川 広域河川改修事業

### 概要表

評価の別：再々評価	事業箇所(区間)：与謝野町字幾地地内(岩屋川) 与謝野町字加悦地内(加悦奥川)	
事業着手年度：平成20年度 (* 昭和39年度)	全体事業費：	26.5億円 (内用地費) (4.8億円)
経過年数：5年 (* 50年)	H25末投資額累計：	14.7億円 (内用地費) (3.9億円)
完了予定年度：平成40年度	進捗率(%)：	55% (内用地費) (81%)
部分供用の有無：有	残事業費：	11.8億円 (内用地費) (0.9億円)

\*) 河川改良工事全体計画の事業着手年度及び経過年数



= 目 次 =

1. 事業概要	野田川一 2
2. 事業の進ちよく状況	野田川一 11
3. 事業を巡る社会経済情勢等の変化	野田川一 15
4. 事業の投資効果	野田川一 16
5. 事業の進ちよくの見込み	野田川一 18
6. コスト縮減や代替案立案等の可能性等	野田川一 19
7. 良好な環境の形成及び保全	野田川一 20
8. 総合評価	野田川一 23
■「環」の公共事業構想ガイドライン評価シート	野田川一 24
■費用便益分析結果総括表	野田川一 26
■参考資料：用語集	野田川一 30

# 1. 事業概要

## (1) 流域の概要

野田川水系は、京都府宮津市及び与謝野町に位置し、本川となる野田川はその源を大江山（標高 832m）を主峰とする大江山山系の与謝峠に発し、与謝野町の田園地帯を滝川、桜内川、温江川、加悦奥川を併せながら北流し、岩屋川を併せた後、北東に流れを変え、水戸川、香河川を併せ、宮津市に入り日本三景「天橋立」の内海である阿蘇海（日本海）に注ぐ、流域面積 99.2km<sup>2</sup>、本川流路延長 15.5km の二級河川である。

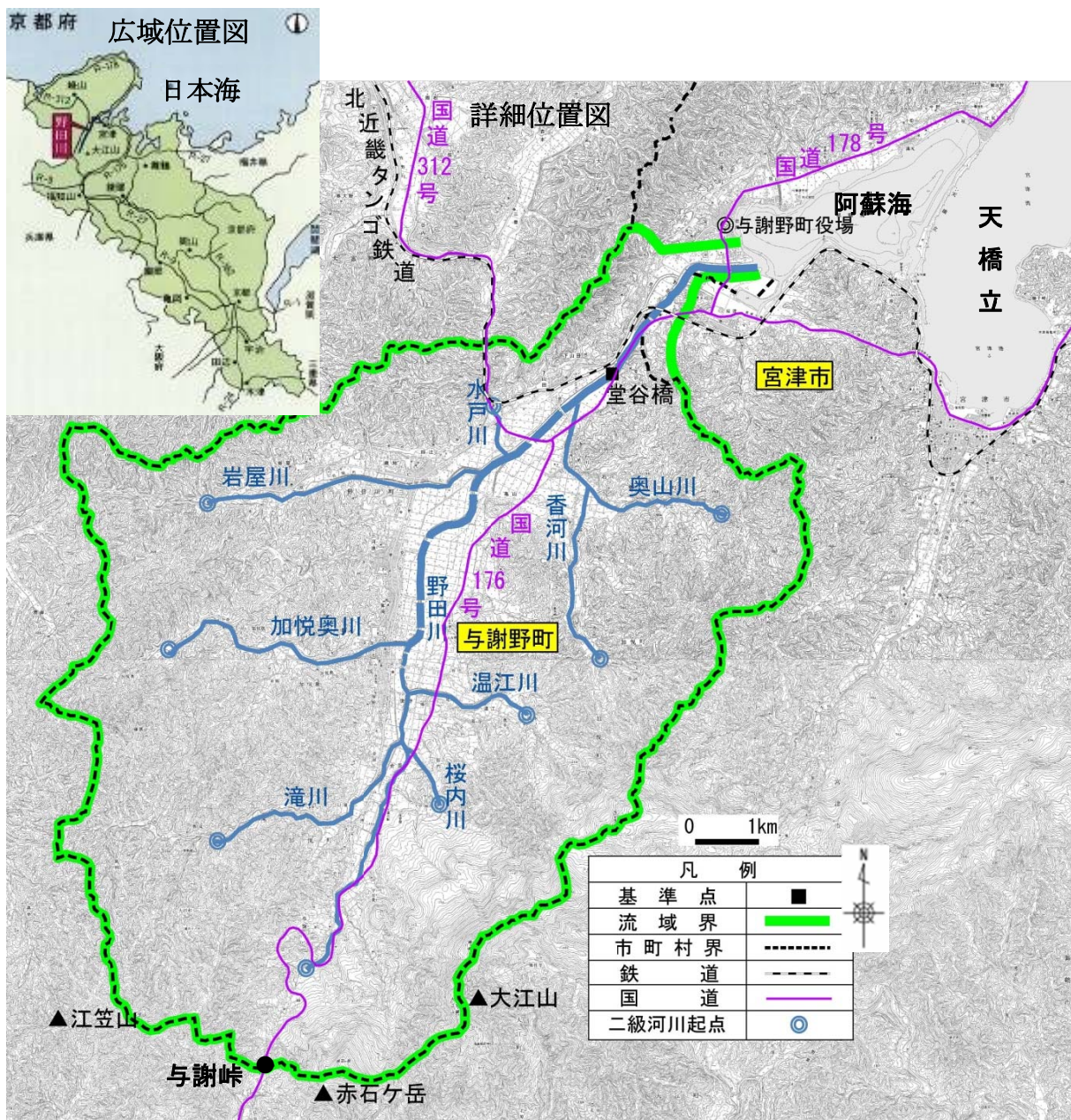


図 1 野田川流域図

## (2) 計画概要

野田川のだがわの河川改修については、昭和 39 年のだがわかせんかいりょうこうじぜんたいけいかくに野田川河川改良工事全体計画（以下全体計画と表記）が策定され、この全体計画に基づいて野田川本川および支川の香河川かがわ、岩屋川いわやがわ、加悦奥川かやおくがわ、滝川たきがわの河川改修を進めてきた。

平成 9 年の河川法改正により、河川整備の長期的な計画の基本となる河川整備基本方針かせんせいびきほんほうしん（以下基本方針と表記）と、今後 20～30 年間の具体的な河川整備の内容を定める河川整備計画かせんせいびけいかく（以下整備計画と表記）を定めることとなり、平成 19 年 9 月に野田川水系河川整備基本方針、平成 20 年 8 月に野田川水系河川整備計画が策定された。

以後、整備計画に基づいた河川改修を進めている。

### 野田川河川改良工事全体計画（昭和 39 年策定）

計 画・・・30 年に 1 回程度発生すると予想される降雨規模に対して生じる洪水を安全に流下させる。

暫定計画・・・5 年に 1 回程度発生すると予想される降雨規模に対して生じる洪水を安全に流下させる。

暫定計画

将来計画

### 野田川水系河川整備基本方針（平成 19 年 9 月策定）

30 年に 1 回程度発生すると予想される降雨規模に対して生じる洪水を安全に流下させる。（全体計画の計画を踏襲）

### 野田川水系河川整備計画（平成 20 年 8 月策定）

野田川水系内の河川を基本方針で整備することは、予算的、時間的に困難であるため、緊急性、実現性等を踏まえた重点的な整備を行うこととし、今後 20～30 年間で平成 16 年台風 23 号と同規模（概ね 5 年に 1 回程度発生すると予想される降雨規模）の出水に対し、民家浸水被害の解消を図る。（全体計画の暫定計画を踏襲）

### 1) 野田川河川改良工事全体計画

野田川本川 (L=13.15km) 及び支川 (L=5.21km) を合わせて 18.36km を対象としている。

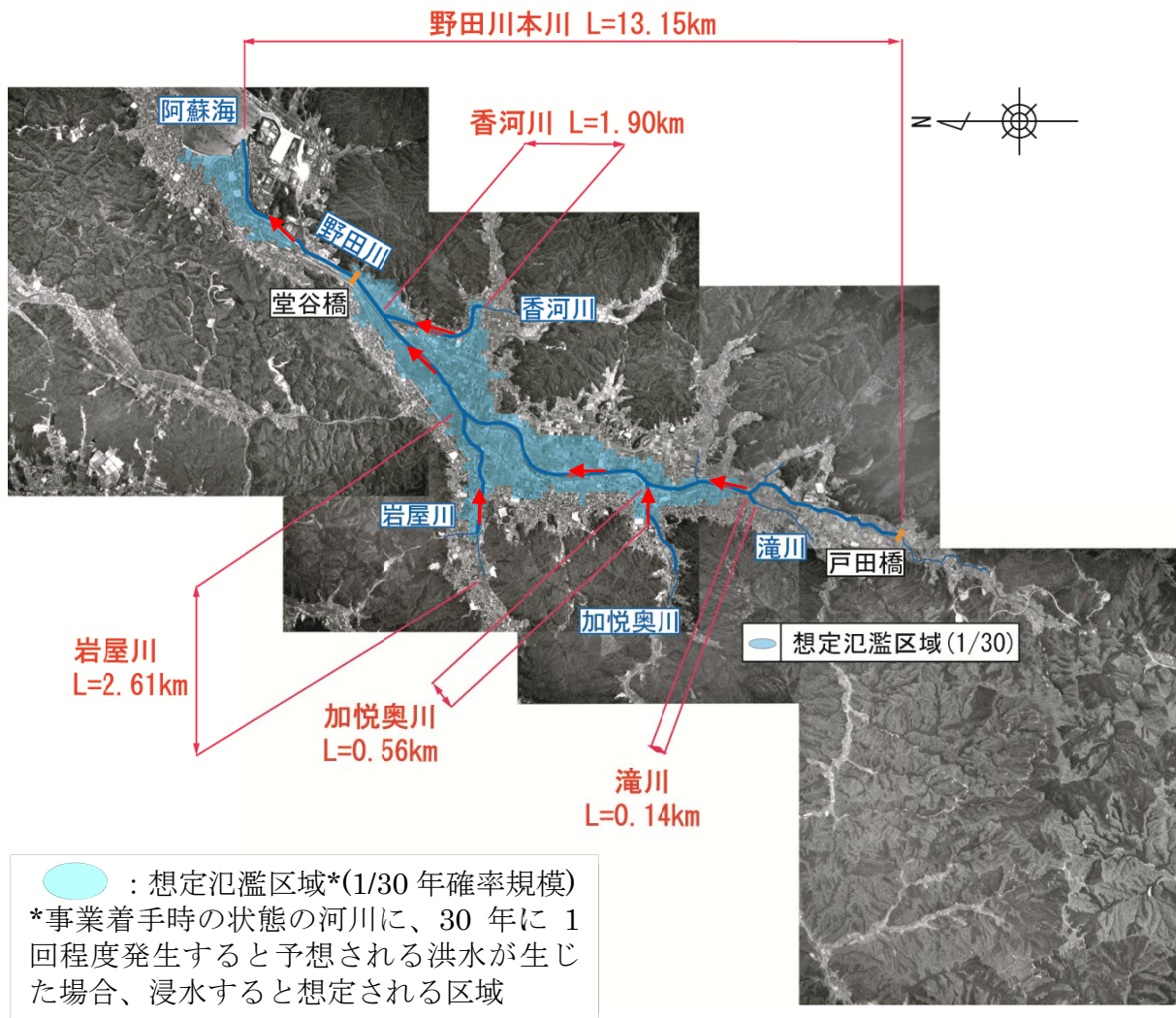


図2 野田川河川改良工事全体計画